

# ホタルイ多発水田に有効な一発処理剤の使用法

近年、水稻栽培において、ホタルイが圃場全面で残草し、著しく減収する水田が増えています。新しい除草剤(モリネート・ピラクロニル・テフリルリオン 1 キロ除草剤)は、大きなノビエ、ホタルイに効果があり、散布期間が長く、余裕をもって散布できます。従来剤に比べ残草が著しく減少すると期待され、その散布方法を紹介します。

## 1 ノビエとホタルイの4葉期まで除草効果がある

本剤は、直播ではイネ1葉期、移植イネでは田植え10日後に散布しても、薬害はほとんどありません。ホタルイ4葉期散布、ノビエ4葉期散布でもほとんど残草がなく、他の1年生雑草も残りません(表1)。

表1 除草効果

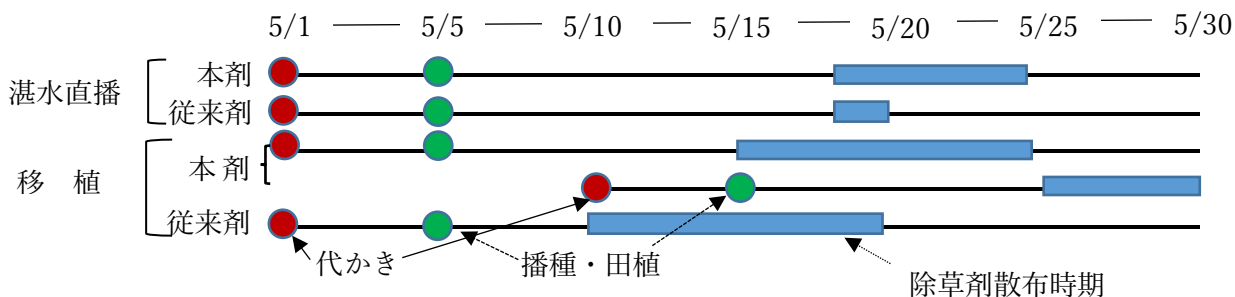
場所	年	散布日	除草剤散布時の雑草葉令	残草量 (g/m <sup>2</sup> )		比較剤の雑草量 (g/m <sup>2</sup> )		無処理の雑草量 (g/m <sup>2</sup> )		
				全体	うちホタルイ	全体	うちホタルイ	全体	うちホタルイ	
直播	農試 現地	H28~ H30	+17	ノビエ4葉 ホタルイ4葉	2.5	0.0	7.7	1.0	215	10
				ノビエ2葉 ホタルイ4葉	0.5	0.5	7.0	7.0	-	-
移植	農試	H28	+16	ノビエ4葉 ホタルイ4.1葉	0	0	1.0	0	141	11

直播農試データは H28~30 の平均. 散布日は播種もしくは移植後日数.

## 2 除草剤の散布時期

近年の気温の場合、5/1 に代かきし、5/4 に播種すると、本剤の散布時期の目安は、「5/17~5/24(播種後13~21日目)」です。5/1 代かき、5/5 田植えの場合は「5/15~5/24(田植え後10~19日目)」が目安です。5/11 代かき、5/15 田植えの場合は「5/25~5/30(田植え後10~15日目)」になります。

※ 従来剤に比べ散布時期の幅は直播で約5日長くなります。



## 3 技術の留意点

- ① 除草剤の散布時期は目安であり、毎年、イネ、雑草の生育を確認して散布する。
- ② 水深3~5cmに湛水して10aあたり1kgを均一に散布し、その後7日間は落水しない。
- ③ 代かき~播種、田植えの期間が長いと、散布期間が短くなる。
- ④ 湛水直播は除草剤2回散布が基本だが、本剤なら播種後20日頃に1回散布だけで良い。

※ただし、雑草の生育に注意し、散布が遅れないようにする。